

# 令和8年度 施政方針

## はじめに

---

我が国を取り巻く環境は、依然として続く物価高騰による生活の厳しさに加え、人口減少・少子高齢化の本格化、自然災害の激甚化、社会インフラの老朽化など、課題が山積しています。

このような前例のない課題が次々と押し寄せる事態に直面し、本町では、クーポン券の発行、道路や河川における災害予防の実施など、課題解決に着実に取り組むと同時に、筆の里工房の周辺整備やふるさと納税の拡大など、まちの価値を高める取り組みを、国の臨時交付金などを最大限に活用し、職員が全庁一丸となり取り組んでまいりました。

今後も複雑化していく課題に対応するためには、多くの皆様の力をお借りしながら、第6次熊野町総合計画後期基本計画を着実に実施していく必要があると考えております。

## 令和8年度町政運営の基本方針

---

1つ目は、「物価高騰対策」です。

昨今の物価高騰は、住民生活に大きな影響を及ぼしています。特に、食料品や日用品の価格上昇は、日々の暮らしに直結する深刻な課題であると考え、繰越事業により、1世帯あたり18,000円分のクーポン券を発行する準備を進めております。この事業は、町民の皆様の家計を支援するとともに、町内事業所の売り上げ増につながるものであるため、着実に実施してまいります。そのほか、水道料金の減免や福祉事業所等に対する支援金の交付などの対策もあわせて実施します。

2つ目は、「観光交流拠点を活かしたまちづくりの推進」です。

令和8年9月に観光交流拠点として「筆の里工房 創作館」が開館いたします。熊野筆や筆文化など、本町の特色を活かした事業を展開するとともに、町民の主体的な参画を促すことで、地域の魅力向上を図ります。また、北側広場の整備、大型遊具の設置などの公園整備を引き続き行い、筆の里工房周辺のにぎわい創出につなげてまいります。

3つ目は、「子育て・教育環境の充実」です。

本町は、転入が転出を上回る社会増が令和3年から続いており、令和7年は140人増加しております。若者や女性に選ばれるまちであり続けるためには、子育て・教育環境の更なる

充実が必要であると考え、ソフト・ハードの両面で国や県の補助スキームを超えて取り組んでまいります。

## **令和8年度の主要施策と取り組み**

---

令和8年度の主要施策と取り組みを、総合計画の基本目標に沿って申し上げます。

### **〔基本目標1 誰もが元気で健やかに暮らせるまち〕**

保育所の待機児童対策でございますが、近年、転入世帯の増加などに伴い、急激に保育ニーズが高まる中、誰もが安心して子どもを預けられるよう、施設整備への支援、保育士確保に関する補助金制度などを設けて支援してまいります。

また、4月からは保護者の就労等を問わず保育所を利用できる、こども誰でも通園制度を実施してまいります。

児童クラブについては、質の向上やきめ細かい対応を図るため、10月から業務委託での事業を開始します。これにより、支援員等の安定確保を図り、民間事業者のノウハウを活かした事業運営を行います。

また、新たに5歳児健康診査の実施を秋以降開始し、就学前の大切な時期となる5歳児に対し、こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣や育児に関する指導を行うことで、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

感染症対策としては、国の臨時交付金を活用し、帯状疱疹や新型コロナ等のB類疾病に係る予防接種の自己負担額の軽減を図ります。

### **〔基本目標2 学ぶ力と豊かな心を育むまち〕**

令和8年度からを計画期間とする第3次熊野町教育大綱を新たに策定し、「学ぶ力と豊かな心の実現」を基本理念として、「学び続ける力の育成」、「思いやりの深化」、「地域と学校の連携・協働の充実」に重点的に取り組んでまいります。

学校教育におきましては、ICTを活用した児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、1人1台端末の整備・更新を広島県の共同調達により実施いたします。

また、良好な教育環境を確保するため、熊野第三小学校南校舎の改築に着手するとともに、避難所機能を強化するため、中学校体育館への空調設備の整備に取り組んでまいります。

学校給食では、国による給食費の抜本的な負担軽減にあわせて、国の交付金で賄いきれない部分を国の臨時交付金を活用することで、保護者負担を求めないこととし、小学校における給食費無償化を実施いたします。

### 〔基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち〕

移住定住施策として、子育て世代の定住を促進するため、一定要件の住宅取得者に対し交付金を支給する事業を引き続き実施してまいります。

また、ふるさと納税につきましては、新たな返礼品開発などの「返礼品の拡充」や「効果的なPR」などにより、多くの人に本町の魅力や地域資源を認知してもらうことで、リピーターの定着や関係人口の増加につなげるとともに、町内事業者の販売促進等を支援してまいります。

### 〔基本目標4 安心・安全で快適に暮らせるまち〕

災害対策として、熊野町地域防災計画などに基づき、給水タンクや簡易トイレ等の資機材を整備し、避難生活の環境改善に努め、非常食料などの備蓄を進め、防災・減災啓発活動を行ってまいります。

次に、町道の新設・改良事業においては、県道矢野安浦線バイパスと一体的に進める必要がある町道萩原線新設事業に本格的に着手するとともに、既存町道の狭隘区間の拡幅、通学路の安全対策、災害時の避難等で必要な箇所への拡幅などを実施し、円滑な道路ネットワークの構築に努めてまいります。

防犯対策では、令和7年度に引き続き「家庭用防犯カメラ等設置費補助金」の交付を継続することと、個人の防犯対策の拡大に努め、更なる防犯対策を推進して参ります。

### 〔基本目標5 人と自然が調和する美しいまち〕

筆の里工房の周辺整備につきましては、令和6年度より国庫補助金「社会課題対応型都市公園機能向上促進事業」の採択を受け事業を推進しております。令和7年度に引き続いて、観光交流施設及び調整池・駐車場の整備を行い、令和8年9月のオープンを目指してまいります。

ます。また、北側広場、大型遊具の整備など、令和9年度上半期の供用開始に向けて進めてまいります。

また、令和9年の蛍光ランプ製造中止の状況を踏まえ、公共施設等における既存照明設備をLED照明へ更新し、消費電力量及び温室効果ガス排出量を削減し、環境負荷の低減を図ります。

### **〔基本目標6 自立と協働 みんなで創る持続可能なまち〕**

DXの推進につきましては、令和8年3月に策定する「第2期熊野町dX推進計画」に基づき、行政運営の効率化や住民サービスの向上等に計画的・継続的に取り組めます。

## **新年度の予算規模**

---

これらの施策を中心に予算編成を行なった結果、令和8年度の一般会計当初予算の総額は、124億2,319万円となり、前年度と比べ3.7%の増となりました。

また、特別会計は3会計の合計で57億4,277万円、企業会計は1会計で11億8,057万4千円を計上しております。

## **終わりに**

---

最後になりましたが、国では2月20日に開催されました第221回特別国会において、高市総理大臣が施政方針演説の中で、「挑戦」というキーワードを何度も述べられました。物価高騰などの多くの課題により、当分の間は難しい行政運営が求められることとなります。一方で、本町は街の幸福度ランキング中国地方1位、人口5年連続の社会増、熊野東中学校陸上部の中国中学校駅伝男女ダブル優勝など、明るい話題も多くありました。熊野東中学校陸上部の生徒も、日々の練習の中で試行錯誤し、仲間と高めあい、新しい取組や過去の自分に「挑戦」し続けたことで、男女ダブル優勝という結果を勝ち取ったものと考えています。

行政運営においても、過去の先例にとらわれず、新しいことに挑戦し、地域の魅力や資源を活かし、選ばれ住み続けていただく、そして、「なんかいい ちょうどいい そう想えるまち」の実現に、全力で取り組んでまいりますので、議員各位をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、令和8年度の施政方針とさせていただきます。